

議案審議

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システムにて御覧いただけます。

4月臨時会では、専決処分1件、条例2件、財産取得1件、財産処分1件、補正予算1件の計6件について審議を行いました。審議の経過について主なものを紹介します。

安心して暮らすことのできる地域社会を目指して

議案第37号 加西市感染症の影響を受ける市民等の人権擁護に関する条例の制定について

◆ 議案の内容

感染症の影響を受ける市民等の人権擁護のために基本理念を定め、市の責務や市民・事業者の役割を明確にして感染症を起因とする差別的取扱い等を未然に防ぎ、人権侵害等の被害に対して適切に相談支援し、市民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指すもの。

◆ 質疑

問 感染症の影響を受ける方々への差別や偏見について、加西市の現状は。

答 現時点では、相談事案は正式に受けていません。



問 差別的取扱い等に関する定義について。

答 条例では、不当な差別や偏見、誹謗中傷、権利利益の侵害、その他の人権侵害と定義しています。

差別する側と差別を受けた側で見解が異なることがありますが、受けた側の主観が市の対応の出発点となると考えます。

問 条例制定後の取組について。

答 市民が正しい知識に基づいて適切に行動できるように、的確な情報発信に努めます。また、一般的な啓発活動に加え、学校現場での助言など感染症に対する正しい知識を広め、人権啓発につなげます。

◆ 討論

賛成

・条文にあるように、感染者、医療従事者、施設関係者に対する差別をなくし、感染症に対峙する体制を改めて整えるためにも今回の条例制定は必要である。

◆ 議決結果

全会一致で原案可決

ワクチン接種体制の整備、商店街お買い物券、子育て世帯生活支援特別給付金など

議案第41号 令和3年度加西市一般会計補正予算（第1号）について

◆ 質疑

PCR検査・ワクチン接種 1億1,438万3,000円の増

問 予防費の増額について。

答 PCR検査費用の一部助成と新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保について、国からの補助金の延長、増額を受けて、今年度も引き続き加西病院でのPCR検査費用の一部を助成し、また、ワクチン接種体制を整えて接種本番に臨みたいと考えます。

商店街お買い物券・ポイントシール事業 2,470万円の増

問 商店街お買い物券・ポイントシール事業補助金について。

答 昨年度に引き続き、消費喚起と地域商業の活性化を図るため、プレミアム分20%の共通商品券事業とポイントシール事業を実施する予定です。

子育て世帯生活支援特別給付金 4,090万円の増

問 生活支援特別給付金事業について。

答 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、低所得の子育て世帯に対し、実情を踏まえた生活支援を行う観点から、児童1人当たり5万円の給付金を支給します。全額が国庫負担です。

◆ 討論

賛成

・多くの市民が望む新型コロナウイルスワクチン接種のスムーズな体制整備のための予算は非常に重要である。



◆ 議決結果

全会一致で原案可決